ロジックモデル＜周産期医療＞

施策【D】 ＜施策・取組の展開＞	初期アウトカム【C】	中間アウトカム【B】 ＜施策の方向性＞	分野アウトカム【A】 ＜目指す姿＞
1．正常分娩 ①施設・設備の整備支援 ②周産期医療提供体制の現状等把握 ③周産期医療に関わる医師確保 ④合併症や帝王切開術等の対応への支援 ⑤妊産婦への相談支援 ⑥助産師の自立と周産期医療の質の向上のための取組	●分娩前後の診療体制が整備されている ●産科医・新生児医が育成・確保されている ●妊産婦の相談体制が整備されている 指標番号　C101～C109	●身近な地域で妊娠・出産に向けた健康管理ができる ●正常分娩やリスクが低い帝王切開が受けられる ●妊娠・出産の不安に対する相談が受けられる ●助産師と医師・看護師の連携ができている 指標番号　B101～B105	●県内のどこにいても安心して子どもを出産することができる 指標番号　A1～A4
2．総合・地域周産期医療 ①分娩施設では対応できない分娩の補完 ①分娩施設では対応できない高度な分娩の補完 ②周産期医療に関わる医師確保 ③周産期医療システム構築の支援	●急変した妊産婦の受入体制及び新生児医療が必要な場合の搬送体制が構築されている 指標番号　C201～C205 ●高度医療が必要な新生児の受入れができる ●母体搬送受入れができる ●周産期医療を担う医療従事者が確保されている 指標番号　C202～C208 ※一部再掲	●リスクのある妊産婦が適切な医療を受けられる ●24時間周産期救急医療に対応できる体制がある ●周産期医療体制における中核病院と地域の周産期医療施設等が連携できている 指標番号　B201～B202	
3．療養・療育支援、生殖医療 ①疾病や障害の早期把握及び早期支援 ②ハイリスク児・妊産婦の退院後の生活支援 ③妊娠・出産の希望をかなえる支援	●各種検査の充実が図られ、妊産婦が健康管理できている ●ハイリスク児・妊産婦の退院支援の充実が図られている ●妊娠・出産を希望する者への支援が充実している 指標番号　C301～C304	●新生児の先天性疾患が発見され早期療養が行われる ●ハイリスク児・妊産婦が退院後の生活について支援を受けられる ●子どもを望む者が妊娠・出産することができる 指標番号　B301～B304	
4．有事の周産期医療 ①災害時小児周産期リエゾンの確保	●災害時も周産期医療にアクセスできる 指標番号　C401	●周産期医療圏単位で災害時小児周産期リエゾンが確保されている 指標番号　B401～B406	